

田中電機工業株式会社

自動車と半導体関連の
めっき処理制御で事業広げる企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン

めっき装置で加工品を搬送する動力部の制御盤

業務内
生産効率の高い安定した
制御システムが得意

めっきは一般にあまり気づかれませんが、製品の性能や耐久性、商品力を高めるには欠かせない重要な技術。同社は自動車のボルトや樹脂製品、スマートフォンなどの電子部品やプリント基板製造装置用の各めっき処理装置自動運転制御システムを得意とする。常に最新技術を導入し、生産性を高め安定した同システムを追求している。

強み
早くから制御を数値化し、
信頼関係を確立

田中千鶴社長は「多くの企業から指名でリピート注文をいただいている」と話す。電気設計6名、電気工事7名、システム開発3名の3部門計16名が互いの部門作業を理解し、グループ体制で高品質な制御を緻密に進める。めっき装置や制御システムに必要な部署が、全てそろった。さまざまな部署の知恵と経験を結集し、「トラブル対応は社員の誰でも容易にできる」のがモットー。その最大の要因が、制御プログラムの数値化。早くから数値化に取り組んできたため、容易にメンテナンスでき、トラブルにも迅速に対応できる体制を築いた。設計者全員が電気工事を4・5年経験しているため、装置を熟知した設計も可能。こうして顧客から「安心できる信頼」を勝ち得ている。



制御盤をCADで効率的に設計する

海外客
現地でも
スピーディーに対応

約30年前から米国、欧州、東南アジアでもめっき装置の新設を受注している。過去10年は売上高の50%が海外で、現在は米国、東南アジアが中心。当初は問題が生じると数日間かけて現地に対応していた。そうした経験から、問題箇所の早期発見方法やミスの少ない制御を考え、「トラブルの少ない会社」という評価を高めた。現在はインターネットによる遠隔操作・監視・トラブルにも対応。国内での設計・電気工事に2・3カ月かけ、少人数のチームで丁寧に取り組む。現地での配線工事は1カ月で、試運転・立ち上げは20日間。外国人技術者も在籍し現地での要望変更など細かいニュアンスを正確に伝え、スムーズに立ち上げる。「長期出張から帰ってくるたび技術者としての成長が目に見える。社員一人ひとりの技術力と頭脳が財産であり、社員とその家族を大事にするのが私の使命」と田中社長は微笑む。

今後の展望
地道な人材育成と設計
体制強化で成長目指す

アナログの時代を知らない若手設計者へベテランの技術力を引き継ぐため、デジタル技術を活用した設計ツールも社内内で開発している。日本人特有のきめ細かなサービス精神と完成度を追求した高い商品力で、海外での活躍を目指す。海外の半導体メーカーに納入するため、「SEMI規格」の導入に向けた取り組みにも平成25年に着手した。

COMPANY PROFILE

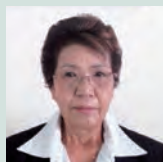
田中電機工業株式会社

大阪
26当社の
歴史

PLC（シーケンサー）が開発されていないころから、リレー回路を駆使し、常に生産効率の高い制御を心がけてきました。PLCの登場と同時に、そのプログラム開発にいち早く取り組み、様々な制御を納入してきました。当時は低かったPLCの能力を最大限に引き出す経験の蓄積が、アナログ時代のノウハウとして、現在の制御にもハードとソフトの両面で生かされています。

生産効率の高い制御を心掛けています。

代表取締役社長 田中 千鶴さん



■主な事業内容

めっき装置の制御盤
設計・製作、シーケンス
ソフト開発、タッチパネル
画面設計、生産管理シス
テム、電気工事

■主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、
半導体装置メーカー、
めっき薬品メーカー

住所／〒570-0012
守口市大久保町
3-21-31
TEL／06-6901-3863
FAX／06-6904-5085
創業／昭和35年2月
設立／昭和40年5月
資本金／2,000万円
従業員／18名

<http://www.3863.co.jp>